

ミニ講座

わかると安心、安心すると挑戦できる ～ “ちょっと気になる” 子どもの育ちを支える環境づくり～

令和8年6月12日に第1回ミニ講座を実施しました。長崎大学教育学部准教授 荻布優子先生を講師に迎え、上記の標題でご講演いただきました。

「発達の特性」という言葉を耳にすることがありますが、まず、その「特性」についての説明がありました。「特性」とは誰にでも存在するもので「個性」として考えることもでき、さらに、「特性」は育ち方によって現れ方が変化するものであるとのことでした。幼稚園で感じられやすい「特性」について具体的な事例を述べられました。その中の「安心」が子どもを育てるというお話では、多くの保護者の方が何度もうなずきながら熱心に耳を傾けていました。子どもが「安心できる」条件は「わかる」こと。「わかる（安心できる）」と、「できそうだ！」と次へ挑戦しようとする。つまり、「安心」でき、「挑戦」しやすくなる「環境づくりの工夫」が、子どもの「できる」を増やすという内容でした。子どもを変えようとするのではなく、子どもが力を発揮しやすい環境を整えてみましょう！と、朝の支度や片付けの環境づくりの工夫を紹介していただきました。早速、取り組めそうなアイデアばかりで子育てのヒントとなる貴重な講演でした。

